

「ますか」申し出文の考察—使用実態調査を生かした授業案—
 A Study of 〈Speaker's Action + “masuka”?〉: From the Viewpoint of
 the Actual Status of the Usage and the Pedagogical Grammar

東條和子, 桜美林大学
 Kazuko Tojo, J.F.Oberlin University

1. はじめに

小説を読んでいたら、犯人を捜している上司と部下のやりとりの中で、

1) 部下「調べますか。」上司「いや、いい。」(13 階段)

という会話が出てきた。調べるのは部下である。これは、コンビニのレジで聞かれる「お弁当、温めますか。」の「ますか」と同じ表現である。

コンビニのレジの場面で、「お弁当、温めますか」と「お弁当、温めましょうか」のどちらが自然か、日本語母語話者にアンケートを取ったところ、「温めますか」派のほうが圧倒的に多かった。また、『日本語歴史コーパス (CHJ)』を調べた結果、2)の例文が見つかった。かなり以前からこのような「ますか」の用法はあったと考えられる。

2) 「氷はヴァニラを入れますか?」 「あゝ、ヴァニラ入りだ。」(『太陽』、1925)

この「ますか」に関して、先行研究を踏まえ、データの収集、分析を行った。また、類似表現の「ましょうか」と使用場面の比較を行い、その相違の要因を検討した。さらに、日本語学習者にこの「ますか」表現をどの段階で、どのように導入すべきか考察を加えた。

2. 目的と使用データ

2.1 目的

以下のことを調査、考察していくことを本稿の目的とする。

- ① 先行研究より「ますか」申し出文の位置づけを行う。
- ② 類似表現の「ましょうか」との使用実態の相違を調査、分析する。
- ③ 「ますか」と「ましょうか」の意味内容や使用場面の相違の起因を考察する。
- ④ 日本語学習者への「ますか」申し出文の導入を検討する。

2.1 使用データ

「ますか」と「ましょうか」はともに、会話中での表現であるので、『日本語歴史コーパス (CHJ)』の会話部分、『現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)』の会話部分、『日本語話し言葉コーパス (CSJ)』、『名大会話コーパス』、『BTSJ による日本語話し言葉コーパス』、『女性のことば・職場編』、『男性のことば・職場編』、『日本語日常会話コーパス モニター公開版 (CEJC)』以上 8 つのコーパスより用例を収集し、考察を行った。

3. 先行研究

砂川は、『問題な日本語その4』（北原 2011）の中で、「「お弁当、温めますか？」というのは、今ではコンビニの常套句のようになってしまいましたが、正しくは「お弁当、温めましょうか？」という申し出の表現を使うべきで、「温めますか」は申し出の表現とはなりません。」と述べている。さらに、「「お弁当、温めますか？」は、店員が、「温める」という自分の行動について客に尋ねている表現です。近い将来の自分の行動について、その意志があるかないかは当の本人が一番良く知っているはずですから、それを相手に尋ねるのは不自然です。」と述べている。

一方、仁田（1991）は、疑問表現の〈情意の問いかけ〉に関して、「言表事態そのものではなく、言表事態に対する心的態度的なあり方が不明であり、それを問いかけの対象にしているものである。ガ格が二人称を取る。」としている。また、〈意向の問いかけ〉に関しては、「話し手がある意志を遂行することを、聞き手が是認・受け入れる意向があるのか否かを、聞き手に問いかけている文である。動詞は、話し手の意志を表す形であるシヨウ形とスル形（スル形は、一人称ガ格を取って、話者の意志を帯びる）がある。スル形の文は、一人称ガ格を取る場合であっても、シヨウ形に比べて、〈聞き手の意志の問いかけ〉の意味合いを帯びてくる。意志を表す形が、一人称を示すガ格を取って、問いかけの形で使われる。〈意向の問いかけ〉には、人称制限が存在し、ガ格は一人称者を指示する名詞に限られる。言い換えれば、一人称ガ格を取っているときに限り、意志を表す形の問いかけが、〈意向の問いかけ〉を表す。」と述べている。本稿の「ますか」申し出文にあたる例として3)を挙げている。

3) 「佐藤？ああ、います。呼びますか。」 「そうしてくれるかな。」

砂川も仁田も、話し手の意志が話し手にとって不明であり、それを聞き手に尋ねるといふことはありえないという点では一致している。砂川はそれを不適切な使用だとしているが、仁田はその用法を〈意向の問いかけ〉として疑問表現の一つに分類している。

陳（2016）は、「お弁当、温めますか？」は、仁田（1991）の〈（聞き手）の意向の問いかけ〉の表現に属し、使用は妥当であるという立場を取っている。さらに、「どちら側のコトに関する問いかけか」という基準で、〈話し手の動作+ますか〉を3つのタイプに分類している。その中で、「お弁当、温めますか？」というタイプの表現の使用文脈は「動作主≠どちら側のコト（当事者）」という「代行の文脈」であり、〈話し手の動作+ますか〉は「ましょうか」よりも中立的なものではないかと指摘している。

先行研究を踏まえて、文章や会話の中で、動作主が話し手であると解釈されているか、聞き手であると解釈されているかを調査するために、敬語化した「ますか」申し出文の用例を収集した。調査の結果、尊敬語化した用例は出現しなかったが、謙譲語化した用例は以下を含め、7例出現した。

4) 昼間の仮面を捨てて、ふところに凶器を隠し持った悪党に変身することだ。
「お呼びいたしますか」二十代の後半と思えるスマートなボーイは三崎のほうに身を屈めた。(夜の総務探偵、2001)

5) 「いいですよ。じゃ、そのお値段でさせていただきます。メッセージをお入れしますか？お名前は？」(Yahoo!ブログ、2008)

しかしながら、尊敬語化の可能性も否定できない。「お弁当温めますか」において、論点は、主語が顕在化していないので、動作主が話し手なのか、聞き手なのか分からない点にあると考えられる。動作は話し手が行うが、意志は聞き手の意志であるという、本来、一致するはずのものが一致していない、ねじれの構造にあると考えられる。

4. 「ますか」申し出文の位置づけ

4.1 用語の定義ⁱⁱ

「ますか」申し出文と関係する意志表現が疑問化したものに関して、用語を確認するとともに【表1】にまとめた。用語の定義は以下の通りとする。

意志表現：話し手が自らの行為について遂行する意志を表明するもので、行為者は話し手（一人称）。

- ・意志の疑問表現（意志の疑い）：聞き手の存在を明らかにしていない、聞き手めあて性のないもの。
- ・意向の問いかけ（申し出）：聞き手めあて性のあるもの。
- ・誘いかけ（勧誘）：話し手がある行為を遂行する意志を持ち、その行為を話し手とともに遂行するよう聞き手に働きかけることを目的とする発話行為。

下記【表1】は聞き手めあて性のある意志表現を表にしたものである。

【表1】「ますか」と「ましょうか」の分類

受益者 動作者	話し手	聞き手	話し手と聞き手
話し手		意向の問いかけ (申し出1) 「ますか」 「ましょうか」	意向の問いかけ (申し出2) 「ますか」 「ましょうか」
聞き手	聞き手の 意志の問いかけ 「ますか」	聞き手の 意志の問いかけ 「ますか」	聞き手の 意志の問いかけ 「ますか」
話し手と 聞き手			意向の問いかけ (誘いかけ) 「ますか」 「ましょうか」

【表1】における〈意向の問いかけ（申し出1）〉〈意向の問いかけ（申し出2）〉〈意向の問いかけ（誘いかけ）〉に関して、以下各々例文を示した。

〈意向の問いかけ（申し出1）〉 動作者＝話し手、受益者＝聞き手

- 6) 厭な気分になってぼんやりと立ちすくんでいると、「中村容子先生、飲みものでも持ってきますか」さっき紹介されたばかりの室田さんが側に立っていて、声をかけてくれた。(BCCWJ 演歌の虫)

〈意向の問いかけ（申し出2）〉 動作者＝話し手、受益者＝話し手と聞き手

- 7) 「申し訳ありません。この場は失礼させていただきます」いい終わるや、孫宝は走り去った「追いますか」「いいえ、だいたいの察しはついているから。ほんとうは危なかったのよ。…」(BCCWJ 孔明の牙)

〈誘いかけ〉 動作者＝話し手と聞き手、受益者＝話し手と聞き手

- 8) やがて本宮の丘へのぼる若宮坂の下に出た。「のぼりますか」編集部の浅井聡氏がいった。私は以前ここにきて、この若宮坂のなだらかな石段をのぼった。(街道をゆく)

5. 「ますか」と「ましょうか」使用実態調査結果

5.1 「ますか」の分析

7つのコーパスから「ますか」申し出文の用例を収集した。【表2】は用法別の総数をまとめたものである。

【表2】 「ますか」の用法別の数

申し出1	申し出2	誘いかけ	合計
33	24	93	150

更に、「ますか」の各用法がどのような場面で使われているか分析し、場面別の用例数を【表3】にまとめ、各々例文を示した。

【表3】 場面による「ますか」の分類

場面	申し出1	申し出2	誘いかけ
1. 警察と軍隊などでの部下と上司のやりとりの場面	3	10	17
2. 作業の場面	4	4	10
3. 小売店の店頭での店員と客のやりとりの場面	11	0	0
4. レストランなどでの店員と客のやりとりの場面	6	0	4
5. 上司と部下（警察と軍隊以外）のやりとりの場面	0	2	8
6. 事情で行為を行えない人との代行のやりとりの場面	2	1	0
7. その他	7	7	54
合計	33	24	93

[1. 警察や軍隊などでの部下と上司のやりとりの場面]

- 9) 北たちの車 北と武井が乗っている。修の車が停まるのが、窓から見えている。北「何だ、あの車は？」 武井「調べますか？」 北「おれが行く」車を降りていく。(鎌田 敏夫 会いたくて1989) 〈申し出2〉

[2. 作業の場面]

- 10) はいじゃあラウンド形式にしますか。じゃあそれでしましょうか (CEJC) (誘いかけ)

[3. 小売店の店頭での店員と客のやりとりの場面]

- 11) 「ポイントカードをおつくりしますか？」と尋ねられてなんとなく、つくってもらって、カードの枚数だけが増える一方で、2回目以降のショッピングに活用していないことはありませんか？(岩田 昭男/西本 裕隆 決定版！カードって、お得2000)

[4. レストランなどでの店員と客のやりとりの場面]

- 12) 鉄板がじゅうじゅうと鳴り、粉が薄く溶かされているせいか、まわりへぶつぶつと流れ出てくる、それを女はテコでととのえつつ、「マヨネーズおつけしますか？」(田辺聖子 春情蛸の足 1990) 〈申し出1〉

[5. 上司と部下のやりとりの場面]

- 13) これこういうに剥がせば綺麗に剥がれるじゃん あーじゃあもうちょっとこれ入れますか。うんうんあっなんで簡単なの (CEJC) (申し出2)

[6. 事情で行為を行えない人の代わりにその行為を行う場面]

- 14) 「鈴木さん、なにか買ってきてきますか？」ぼくは鈴木さんのおじさんに声をかけた。「いや、なにもない。ありがとう」(丘 修三/石井 睦美 おめでとうがいっぱい 1999) 〈申し出1〉

[7. その他]

- 15) 「わかりました。もしかして家にいるのかもしれないと？」「はい。じゃなければ普通は連絡があるはずだし」「じゃ、ちょっと一緒に行きますか？」「はい」(楠えりか D 2003) 〈誘いかけ〉

【表3】より出現場面における「ますか」のまとめ：

- ・「ますか」全体の出現数と比較して、一人称ガ格の「ますか」の用例数はあまり多くない。
- ・〈申し出1〉の用法は、「レストランでの場面」や「店頭での客とのやりとりの場面」での出現が半数以上を占めている。〈申し出2〉の用法では、「軍隊や警察の場面」での出現が多くなっている。
- ・〈誘いかけ〉用法の用例数が一番多く出現したが、その中でも〔その他〕以外では、〔警察や軍隊〕の場面における用例数が一番多い。

5.2 「ましょうか」の分析

「ますか」同様に7つのコーパスから用例を収集した。【表4】は用法別の総数をまとめたものである。用例も下記に示した。

【表4】「ましょうか」の用法別の数

申し出1	申し出2	誘いかけ	合計
143	48	171	362

- 16) 「三幸ちゃん、この家に工具箱はありませんか?」「ええあります。持ってきてみましょうか?」「お願いしますよ、それから懐中電灯も」(島田 莊司 暗闇坂の人喰いの木 1994) 〈申し出1〉
- 17) 「…みなさんは、明日香の会を、明日香という土地を愛していらっしゃる何か知っている人は、いってほしいのです。必要なら電気を消しみましょうか?」と、十津川はいった(西村京太郎 明日香・幻想の殺人 2003 〈申し出2〉)
- 18) 「腰やられたら、何もでけんもんな、うちでも使うようにしよう」何回も何回も練習したので、「そろそろ終わりにしましょうか?」と田中講師が言うと、誰かが、「隣の神社の階段でやってみようよ」といい出す。(安宅温 走れ介護タクシー2001) 〈誘いかけ〉

【表4】より「ましょうか」のまとめ:

- ・〈申し出〉合計と〈誘いかけ〉の用法の出現数がほぼ同じである。
- ・どの用法でも使用場面における傾向は特になく、様々な場面で使用されていた。

6. 「ますか」と「ましょうか」の比較・検討

6.1 警察や軍隊における部下から上司への申し出

部下から上司へ提案や申し出をする場合に、「ますか」を使用している。特に上下関係が厳しい警察や軍隊での使用例が多い。19)で、「撃ちますか?」を「撃ちみましょうか?」に置き換えると、下士官から上官への申し出としては強く感じ、不自然である。

- 19) そこから背後の海面を見ると、浅黒い膚をした黒髪の男がひとり、入り江の右岸から左岸へ、抜き手をきって猛烈な速さで泳ぎ渡ろうとしていた。「撃ちますか?」軍曹に問われ、「撃て」船隊長は命じた。(多島斗志之 海賊モア船長の憂鬱 2005)

6.2 レストランや店頭での店員と客のやりとり

20)は「ますか」の〈申し出1〉表現、21)は「ましょうか」の〈申し出1〉表現である。20)は、お客さまに対するロボットの申し出で、「コーヒーをお持ちしますか?」という発話の前に会話のやりとりはない。21)は注文されたものを運んできたウエイトレスがお客の状況を判断して特別なサービスの申し出をした場面である。20)の「コーヒーをお持ちしますか?」を「コーヒーをお持ちましょうか?」に置き換えると不自然である。21)の「椅子をもう一脚ご用意ま

しょうか？」を「椅子をもう一脚ご用意しますか？」に置き換えてみる。「椅子をもう一脚ご用意しましょうか？」はウエイトレスの好意による特別なサービスの申し出であることが含意されるが、「椅子をもう一脚ご用意しますか？」のほうはサービスの申し出というより指示を仰いでいるニュアンスを感じる

20) 「お忙しいところ、申し訳ありません」「いえいえ。ぜひ現場を見て下さいとお願いしたのはこちらですから。まずはお茶でもどうぞ」「コーヒーをお持ちしますか？」ロボットが所長に尋ねた。(大石英司 新世紀日米大戦 1998)

21) 注文した品を運んできたウエイトレスが、マータを見て尋ねた。「椅子をもう一脚ご用意しましょうか？」「いや」カマールが即座に答えた。「こちらの女性はお帰りになるところだ。」(シークは気まぐれ 2005)

7. 「ますか」と「ましょうか」の相違の要因の考察

「ますか」申し出文は、主語が一人称ならば〈意向の問いかけ(申し出)〉、主語が二人称ならば〈聞き手の意志の問いかけ〉を表す。「ますか」自体は意志のモダリティを有しておらず、構文的に意志のモダリティを表す〈疑似モダリティ形式〉である。「温めますか」の主語は一人称であるが、意志を持たず動作を表すだけであり、自分の行為を相手に問いかけている。一人称が主語の場合でも、あたかも話し手には意志がないかのように(ロボットのよう)、話し手の行動を、聞き手が受け入れるか否かの決断を、聞き手に問いかけている。その意味において、使用場面は、話し手の意志を感じさせないルーティーンワークや通常のサービスの場面、あるいは軍隊における上官と部下のように、部下の伝達する内容を上官が受理するか否かという場面に使用されることが多いと考えられる。

一方、「ましょうか」文においては、主語は一人称であることは明らかであり、〈意向の問いかけ〉を表す。「ましょうか」自体は、過去になることもなければ否定になることもなく、話し手の心的態度、意志を表す〈真正モダリティ形式〉である。したがって、サービスの場面などにおいては、話し手による特別なサービスですよという親切の押し売りのような印象を受けると考えられる。

以上のことから、「ますか」と「ましょうか」の意味内容、使用場面の相違は、「ますか」と「ましょうか」のモダリティ形式に起因していると考えられる。

8. 日本語学習者への「ますか」申し出文の導入

8.1 「ますか」と「ましょうか」導入への授業案

中級クラスの学生向けの授業(45分×2コマ)の中で、〈申し出〉用法の「ますか」の導入を提案していく。「ますか」が使用される典型的な場面で導入する。その中で学生が遭遇する可能性のある店頭での店員と客のやりとりの場面を設定する。学生には「ますか」と「ましょうか」の使用の相違について、「ますか」は通常のサービスを行う場合、「ましょうか」は特別なサービスを提供する場合に使用すると説明する。ペアで練習をする。時間があれば、会話例を参考に「ますか」と「ましょうか」を使った会話の SCRIPT を自分達で作成させ、それを教師が回収し、添削、次回の授業にてペアで発表させる。

典型的な会話例

〔コンビニのレジにて〕

- 店員： お弁当温めますか。
 客： はい、お願いします。
 店員： お箸は付けますか。
 客： はい、お願いします。
 店員： （お弁当を二つ買ったのを見て）
 お箸、もう一本入れましょうか。
 客： ありがとうございます。

〔レストランにて〕

- 店員： 飲み物、お持ちしますか。
 客： はい、お願いします。
 店員： 紅茶にレモンとミルクはお付けしますか。
 客： はい。
 店員： （紅茶を持って来て）紅茶です。
 客： ありがとう。
 店員： （客が紅茶をこぼしたのを見て）
 新しい紅茶と交換しましょうか。
 客： すみません。お願いします。

実際に、20名のアジア人の初中級クラスの学生にこの授業案での授業を実施した。例に挙げた会話を読ませて、ロールプレイをする授業は特に問題はなく、質問も出なかった。しかし、自分達でスクリプトを作らせたところ、「ますか」と「ましょうか」の使い分けは難しい様子で、スクリプト作成に悪戦苦闘していた。学生の作成した例を挙げると、

〔コンビニで〕

- 店員： いらっしゃいませ。
 客： チキンを買いたいです。
 店員： はい。*チキンをあげますか。
 客： はい。
 店員： *チキンを袋に入れましょうか。
 客： はい。お願いします。

「*チキンをあげますか。」は「ますか」の誤用というより、使用語彙の誤用である。「*チキンを袋に入れましょうか。」は、通常サービスとして「チキンを袋に入れますか。」として欲しいところである。何が通常サービスで、何が特別なサービスかの判断が難しかったようである。

9. まとめ

本稿の一つ目の目的である「ますか」申し出文の位置づけとして、動作者＝話し手、受益者＝聞き手で〈意向の問いかけ－申し出 1〉を表し、動作者＝話し手、

受益者＝話し手と聞き手で〈意向の問いかけ－申し出 2〉を表し、動作者＝話し手と聞き手、受益者＝話し手と聞き手で〈誘いかけ〉を表す。

「ましょうか」との比較において、「ますか」は話し手の意志を示さない通常のサービスや、軍隊などの上司と部下の場面で目立って使用されている。一方、「ましょうか」は特別なサービスなど話し手の意志を表現する場面に使用されていることが分かった。この相違は、「ますか」と「ましょうか」のモダリティ形式の相違に起因していると考えられる。

日本語学習者への導入は、他の申し出や勧誘表現が定着してから、中級以上で「ましょうか」と比較させながら導入するのが適切だと思われる。

10. おわりに

本屋のカウンターで、「ますか」が謙譲語化した「カバーおつけしますか。」のような質問を耳にすることがある。謙譲語化しているので、主語は一人称の申し出文であると判断することができる。一方、「温めますか」に関しては、謙譲語化した「お温めますか」という表現は使用されていない。音韻的な問題で使用されていないとも考えられる。更に、コンビニなどでの「温めますか」の使用は、マニュアル化された表現である可能性もある。「温めますか」文は、主語が提示されず、敬語化もされていないことが、解釈に幅が出てしまう要因であると考えられる。

参考文献

- 陳昭心 (2016) 「〈話し手の動作＋ますか〉疑問文に関する一考察—「お弁当、温めますか?」という表現の使用から考えて—」『日本語日本文学』第45号
 仁田義雄 (1991) 『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房
 姫野伴子 (1998) 「勧誘表現の位置—「しよう」「しようか」「しないか」—」『日本語教育』96号

参考資料

- 『女性のことば・職場編』ひつじ書房、1997
 『男性のことば・職場編』ひつじ書房、2003
 『中納言日本語歴史コーパス (CHJ)』国立国語研究所
 『中納言現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)』国立国語研究所
 『中納言日本語話し言葉コーパス (CSJ)』国立国語研究所
 『中納言名大会話コーパス』国立国語研究所
 『BTSJによる日本語話し言葉コーパス』2011
 『日本語日常会話コーパス モニター公開版 (CEJC)』国立国語研究所

ⁱ 疑問表現を、〈疑い〉〈問いかけ〉を有する本来の疑問表現と、〈働きかけ〉に移行した疑問表現とに分けている。問いかけの対象が言表事態にあるか、モダリティの中にあるかにより二つのタイプに分類している。問いかけの対象を言表事態の中に有しているものを〈判断の問いかけ〉、問いかけの対象が言表事態に対する聞き手の心的態度、つまりモダリティ、あるいは疑似モダリティの中に有しているものを〈情意の問いかけ〉と〈意向の問いかけ〉としている。

ⁱⁱ 用語は姫野 (1998) における定義を使用。